

令和5年度 研究全体計画

①令和5年度の方向性

○教科・・・生活科、総合的な学習の時間

・学校教育目標から

【学校教育目標】 心豊かにたくましく自立する子 ～あらかっ子 いい声 いい顔 いい姿～

【めざす児童像】 自ら課題を見つけ、解決するための方法を考え、行動できる子の育成

【行動目標】

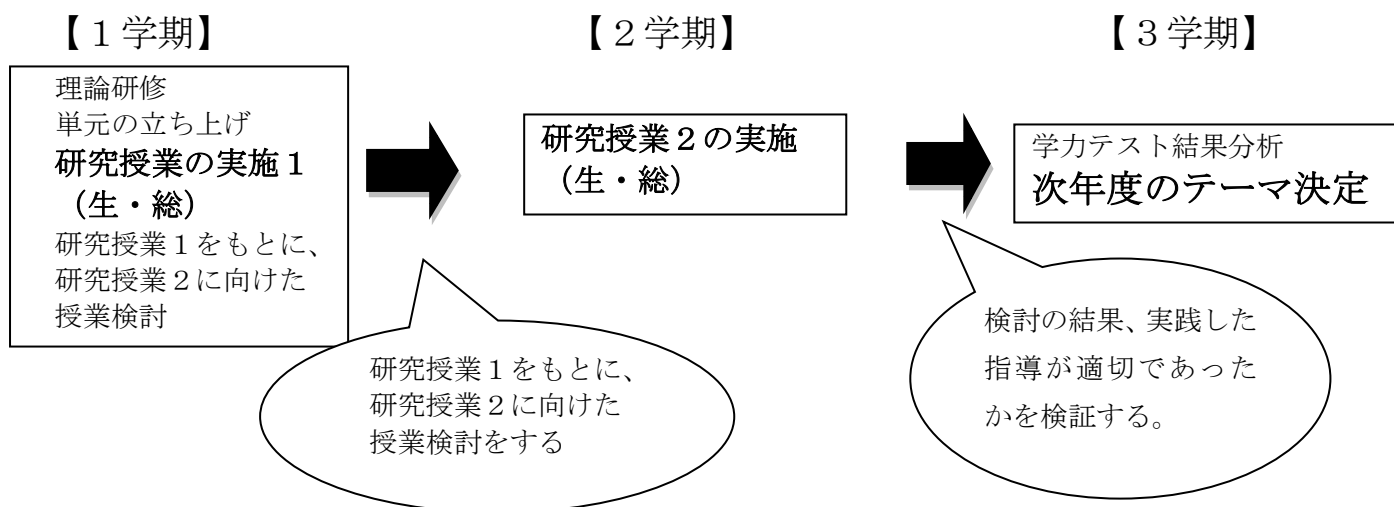
- 心身共に健康でたくましい子（強い子ども）
- よく働き、助け合う子（助け合う子ども）
- よく学び、最後まで努力する子（考える子ども）

②研究主題・副題について

児童が主体的に考え活動する生活・総合授業の工夫改善

～ Stand Up Araki カリキュラム ～

③研究（研修）の進め方



④研究の内容・方法

- ・令和4年度末に作成した「今年度の総合授業について」の改善案などをもとに、大まかな年間計画を立てる。
- ・年間計画を立てながら、毎月末に進捗状況・修正状況をデータ資料として打ち込みをする。
- ・生活科ブロック(1・2年)、総合的な学習ブロック中(3・4)・高(5・6年)に分かれ授業を検討する。
- ・総合的な学習ブロックは、単元の立ち上げをする。(探求のプロセス図・Project Design Mapづくり)
- ・生活科では「体験→表現」の2回転目、総合では「整理・分析」場面に焦点を当てた展開を行う。
- ・各学年は授業を展開し、授業後は研究協議を行う。
- ・焦点授業を行わない同学年異クラスでは、事前事後でつながりのある箇所を展開する。
- ・校内研の授業展開と、若年層研修の授業展開を兼ねることができる。
- ・板書やノート、子どもの学習の様子などを写真撮影し、記録として残しておく。